

安全指導だより 4月号

令和6年4月24日（水）
西東京市立田無第四中学校
生活指導部 安全指導係

安全指導だよりでは、避難訓練の反省や災害そのものについて、西東京市での災害の情報など、様々なことを時期に応じて発信します。ぜひ目を通してみてください。

< 4月避難訓練の振り返り >

4月の避難訓練は、「避難経路の確認」でした。
基本的な考え方（全避難）は

- ・校舎内の一番近い階段や出口から校庭に避難する

です。東避難と西避難は、それぞれどちらかの階段が使えなかった場合を想定しています。
また、階段の降り方も学びました。さて、突然の復習問題です！



Q. 階段を使って避難する場合、正しいのは次の2つのうち、どちらでしょう。

- ① 4階から避難する生徒は、なるべく階段の外側を使用する。
- ② 4階から避難する生徒は、なるべく階段の内側を使用する。

ヒントは、①②それぞれの場合を想像してみることです。

みなさんが4階から避難しているときに、他の階から同じ階段を使って人が合流してくるかもしれませんね。そのとき、なるべく避難する人の流れが止まらないのは、どちらの場合か考えてみましょう。

なぜ避難訓練を行うの？

学校では、年間に行う避難訓練の回数などが決められています。皆さんも今まで小学校や中学校で何度も避難訓練を行ってきました。その内容や時間帯は様々です。では、なぜ何度も避難訓練を行うのでしょうか。みなさんは、考えたことがありますか。

災害は「いつ、どこで、どんなことが」起こるか分かりません。もしかしたらこのプリントを読んでいる今！突然大きな地震が来るかもしれません。周りに先生や友達がいないときに、何かが起こるかもしれません。トイレに行っているときに、緊急の放送がかかるかもしれません。そんなとき、皆さんは冷静な行動がとれますか。正しいと思える判断ができますか。

だからこそ、1回1回の避難訓練に真剣に取り組んでほしいと思います。そして、学校以外の場所で災害に遭遇したときなどは、避難訓練や安全指導だよりで得た知識や判断力を、生かしてもらいたいと思います。

< 落とし物のお知らせ > 落とし物ロッカーの場所：校長室前
時計・キーホルダーなどあります。
心当たりのある人は担任の先生に申し出ること。



Q. の答え：② 上の階の人が内側を通ると、下の階の人が外側から合流できますね。